1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (現2年) 意欲的に運動に取り組むことができている。学習カードで簡単な振り返りの仕方を少しずつ身に付けている。
- (現3年) チームプレーを意識しながら、声を掛け合う児童が増えた。
- (現4年) 話し合い活動を通して、技能の高まりがみられる場面が増えた。
- (現5年) 学習カードを活用して、自己の成長の高まりを感じられた。また、シェアタイムで友達の良い動きを称賛することで、学習の意欲を高めることができた。
- (現6年) 振り返りカードの活用により、児童一人一人が自分の課題を意識し、学習に取り組むことができた。

(2) 課題

- (現2年) 技能面の個人差が大きい。学習カードは、文章での記述が難しい児童もおり、選択する形式を取り入れるなど、カードの工夫をする必要がある。
- (現3年) 技能面の個人差が大きい。技能を習得し、試行錯誤しながらより良いプレーをしようとする力を身に付ける必要がある。
- (現4年) 技能面の個人差が大きい。「知る」段階での理解を深める必要がある。
- (現5年) 単元によって、運動の特性に応じた技能面の個人差が大きい。正しく理解させるための手立てが必要である。
- (現6年) 運動能力に差がつくことにより意欲が低下する傾向にある。運動の基本の技や動きについて個人差が大きい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びの楽しさに触れ、運動遊びの行い方のきまり、用具の使い方、場の安全確保等、各種の運動遊びの行い方を知る。 ・体を動かす心地よさを味わわせたり、基本的な動きを身に付けさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくできる運動遊びを工夫させる。 ・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行うと楽しい運動遊びを選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びにすすんで取り組み、順番やきまりを守って誰とでも仲良く運動をしたり、安全に気を付けたりすることを通して、主体的に取り組む態度を育てる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が「動きたい・考えたい・関わりたい」などの気持ちを引き出しながら、ねらいとする学習内容に迫る工夫をして運動に取り組ませ、運動技能の向上を図る。 ・基本的な動きや技能を身に付けるために、スモールステップで、段階を追って発展させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自己の課題に適した運動の行い方や場を選ぶことができるようにする。 ・シェアタイムで、気付いたことや考えたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わわせ、誰とでも仲良く運動するよさを感じさせ、主体的に運動に取り組ませる。 ・振り返りの時間などで、他者と学習の成果を認め合うようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・スキルアップタイムで、主運動に繋がる基本動作を確認させ、実践していく。・見本の動画や運動の特性の動きのポイントを確認したりして、正しい動き方を理解させていく。・グループ活動での教え合いやスモールステップでの活動を通して、運動の特性に応じた技能が身に付けられるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none">・学習内容に応じためあてを明確にもたせ、自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動を工夫できるように、運動の行い方を選べるようにする。・タブレット端末を活用して、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を取り入れる。・ペアやグループで学習に取り組みせ、見合うポイントを互いに確かめ合い、そのことについて児童同士で伝え合う場を設ける。	<ul style="list-style-type: none">・学習カードを活用し、毎時間の自分の成長を実感させるとともに、学習の見通しをもたせられるようにする。・シェアタイムで児童同士が励まし合い、認め合う場面を多く設定し、運動する意欲を高められるようにする。